



第1回 エコプロアワード

2018年12月6日

http://www.jemai.or.jp/ris/1st_eco-pro_award.html



はじめに

SDGs時代の環境と社会、そして未来へ

SDGs、パリ協定など持続可能な社会づくりに向けた国際的な潮流は、今まさに我々人類の事業活動や生活環境を大きく変革させようとしています。

1999年から開催されている「エコプロダクツ展（現エコプロ展）」は、これまでの約20年間にわたってわが国最大級の環境展示会として、環境・エネルギー領域での環境配慮製品・サービスの社会への開発導入を促進し、今日は、持続可能な消費の在り方まで創造し、提案する場として発展してまいりました。

今後は、製品・サービスのみならず国際的な潮流に対応した環

境・社会・経済を両立させる新たなイノベーションの創出の場としてさらなる進化を続けて参ります。

本「エコプロアワード」はこうした背景の中、2004年に創設された前身の「エコプロダクツ大賞」の理念を引き継ぎ、エコプロ展20回の記念の年に関係5省庁のご支援の下、新たな表彰制度として創設・生まれ変わりました。

“第1回エコプロアワード”、「エコプロ展」と一体となって地球の豊かな未来づくりに向けて発信です!!

第1回エコプロアワード審査委員会 審査委員長講評



審査委員長
梅田 靖
東京大学 大学院 教授

第1回のエコプロアワードには4件の大臣賞、5件の優秀賞、7件の奨励賞が採択された。

この内、4件の大臣賞の概要について以下に要約する。なお、正式名称、詳細に関しては各ページを参照されたい。

●農林水産大臣賞

岩手県久慈市における未利用資源を活用した熱供給サービス
久慈バイオマスエネルギー株式会社

地域循環型エネルギー供給の仕組みにおいて、バイオマスエネルギーは潜在的可能性が高くこれまでにも取り組みがなされてきたが、この事例では未利用資源であったバークを活用し、熱エネルギーを地域農業に提供することで運営コストの削減と地域経済への貢献が大きい。本地域での取り組みが、今後他の地域に展開されること期待する。

●経済産業大臣賞

乾式オフィス製紙機 PaperLab A-8000
セイコーエプソン株式会社／エプソン株式会社

オフィスから発生する大量の古紙を、機密性を保ちながら現場で再生成する革新的な方式を開発した。これまでの事務機器や用紙の取り扱いなど販売スキームをより環境負荷の少ないモデルに変革させる可能性を持っている。

また現場で紙を再生することはユーザーに対し紙使用量が分かりやすく伝わり、資源循環の意識向上にも役立つ可能性がある。

●国土交通大臣賞

大和ハウス佐賀支店ビル
大和ハウス工業株式会社

省エネや再生可能エネルギーを通じて、建物のエネルギー消費量を削減し、限りなくゼロにするというZEBの取り組みは、今後取り組みが求められる分野であり、この事例は省エネ技術導入事例として価値がある。生活空間における環境負荷を低減する取り組みにチャレンジする姿勢と技術開発が評価できる。

●環境大臣賞

FILSTAR (elementless filter)
株式会社industria

本商品は、工場排水などのフィルターレスろ過装置であり、高い異物除去性能とフィルターレスによる交換費用の削減によって環境性能と経済性を兼ねそろえている。同社は独自技術を生かした上で、協力企業との人材交流にも積極的に取り組んでいる。工場内のゼロエミッション化にも寄与するものづくり企業の先進事例として注目に値する。

CONTENTS

02 第1回 エコプロアワードについて

農林水産大臣賞

- 04 ●岩手県久慈市における未利用資源を活用した熱供給サービス

経済産業大臣賞

- 05 ●乾式オフィス製紙機 PaperLab A-8000

国土交通大臣賞

- 06 ●大和ハウス佐賀支店ビル

環境大臣賞

- 07 ●FILSTAR (elementless filter)

優秀賞 エコプロ2018実行委員長賞

- 08 ●三菱電機ルームエアコン 「霧ヶ峰」FZシリーズ

- 08 ●プルタブバッグ

優秀賞 審査委員長賞

- 09 ●発芽米 金のいぶき

優秀賞 主催者賞

- 09 ●印刷した用紙をリユースできる複合機Loops LP35/45/50

優秀賞 地方創生賞

- 10 ●こども園の給食からうまれた『のとふり』(能登産野菜とダシ残渣の新たな出会い)

奨励賞

- 10 ●Green Down Project(グリーンダウンプロジェクト)

- 11 ●きこりんプライウッド

- 11 ●科学的地域環境人材(SciLets)育成事業

- 12 ●イオンの持続可能な水産物調達方針およびFish Baton(フィッシュバトン)の取り組み

- 12 ●ミャンマーにおけるMDGs～SDGsへの取り組み、および殺菌剤入り石けん液(生分解性99%以上)やソフトの提供による衛生改善

- 13 ●エシカルなものづくりと光発電エコ・ドライブによる新感覚ラグジュアリーウオッチ

- 13 ●REDD+を活用したカーボン・オフセットシェア



第1回 エコプロアワードについて

1. 趣旨、目的

「エコプロアワード」の前身となる「エコプロダクツ大賞」は、すぐれたエコプロダクツ（環境負荷の低減に配慮した製品・サービス）を表彰することによって、エコプロダクツに関する情報を需要者サイドに広く伝えるとともに、それらの供給者である企業等の取り組みを支援することで、わが国におけるエコプロダクツのさらなる開発・普及を図ることを目的に、2004年度に創設されました。

これまでに13回の表彰が実施され、情報を需要者サイドに広く伝える役割を担ってきましたが、経済のグローバル化やパリ協定の発効など社会経済を取り巻く状況は日々変化しており、“エコ”がカバーする範囲は必ずしも“プロダクツ”的な範囲だけに留まるものでは無くなっていました。このような社会の変化も視野に入れ、2018年度よりこれまでの「エコプロダクツ大賞」をリニューアルし、これまでの理念や実績は継承しながら、新たに「エコプロアワード」として生まれ変わりました。

「エコプロアワード」の創設に当たり、その運営も新体制の下で再出発することとなりました。日本経済新聞社とともにエコプロ展を主催する団体でもある一般社団法人産業環境管理協会に運営事務局を移管し、エコプロ展の主催者が運営する表彰制度として一体的に運営し、これまで以上に情報発信力の強化を目指します。

2. 募集対象

募集対象は製品、サービス、技術、ソリューション、人物などで「環境への配慮」が要素として含まれるものとし、産業分野などは特に問いません。

(1) 有形対象物

製品、技術等の有形の対象物は、日本国内において、すでに市場に提供されていることを応募条件とします。ただし、応募時点での市場に提供されていない製品であっても、審査開始時点（5月末時点）に製品の確認ができ、審査結果発表時点（8月末時点）までに市場に提供されることが確実なものについては応募できるものとします。

(2) 無形対象物

サービス、ソリューション、人物等の複数の要素を組み合わせて有効に機能する財、もしくはその構成要素が生み出す形態的価値であることを条件とします。日本国内において、応募締切日時点での提供開始から6ヶ月以上の実績を有する財を対象とします。

なお、過去のエコプロダクツ大賞において受賞したものとの同一の製品・サービスは応募できません。

3. 賞の種類

応募されたプロダクツ・サービスの審査後に下記の賞が授与されます。なお、下記の賞の種類には該当がない場合もあります。

○エコプロアワード大臣賞

- | | |
|--------------|---------|
| ・財務大臣賞 | <賞状、副賞> |
| ・農林水産大臣賞 | <賞状、副賞> |
| ・経済産業大臣賞 | <賞状、副賞> |
| ・国土交通大臣賞 | <賞状、副賞> |
| ・環境大臣賞 | <賞状、副賞> |
| ○エコプロアワード優秀賞 | <賞状、副賞> |
| ○エコプロアワード奨励賞 | <賞状> |

4. 審査基準

以下の点を踏まえた上、優れたプロダクツ及びサービスを評価します。

(1) 環境保全性

- ・省資源化や有害物質の抑制、エネルギー消費・使用量が削減されているか
- ・持続可能な開発目標（SDGs）のゴールにどのように貢献しているか

(2) 独創性（新規性）

- ・新たな技術やシステム、新しい発想によるアプローチがなされているか

(3) 経済性・市場性

- ・消費者にとってコストパフォーマンスに優れるなど魅力があるか
- ・経済活性化など市場に対して影響力があるか

(4) 社会性

- ・持続可能な未来社会の実現のため、国民運動として展開されている「COOL CHOICE」や「CO₂マイナス50%エコライフ」、さらに「地域活性化」につながるコミュニケーションの配慮はあるか。

(5) その他

- (1)～(4)に該当しない環境側面、上記項目では評価しきれない優位性を持っていること。

5. 審査方法

応募の内、選考委員会の各選考委員にて評価を実施。各選考委員が推薦する案件を確認し、最終表彰選考候補の絞り込みを実施します。

最終表彰選考候補の中から、各大臣賞、優秀賞、奨励賞を選別、特に大臣賞は関係省庁からの意見を踏まえて絞り込みし、選考委員会としての選考案を確定します。

選考委員会から選出された候補より、審査委員会の委員の意見を踏まえ賞を決定しました。

審査委員

| | | |
|-----|--------|---------------------------|
| 委員長 | 梅田 靖 | 東京大学大学院教授 |
| 委員 | 飯田 健太 | 経済産業省 産業技術環境局 環境政策課 課長 |
| 委員 | 伊香賀 俊治 | 慶應義塾大学教授 |
| 委員 | 西村 治彦 | 環境省大臣官房環境経済課 課長 |
| 委員 | 蟹江 憲史 | 慶應義塾大学大学院 教授 |
| 委員 | 香坂 玲 | 東北大学大学院 教授 |
| 委員 | 川埜 亮 | 国土交通省総合政策局環境政策課 課長 |
| 委員 | 高岡 美佳 | 立教大学 経営学部 経営学科 教授 |
| 委員 | 西尾 チヅル | 筑波大学大学院 ビジネス科学研究科 教授 |
| 委員 | 増井 慶次郎 | 国立研究開発法人産業技術総合研究所 |
| 委員 | 松本 真由美 | 東京大学 教養学部 客員准教授 |
| 委員 | 中川 一郎 | 農林水産省 大臣官房政策課 環境政策室 室長 |
| 委員 | 杉山 真 | 財務省国税庁酒税課 課長 |
| 委員 | 安藤 淳 | 日本経済新聞社東京本社 編集局経済解説部 編集委員 |

オブザーバー

| | |
|--------|-------------------------------|
| 池田 三知子 | 一般社団法人日本経済団体連合会 環境エネルギー本部長 |
| 山本 良一 | 東京大学 名誉教授(エコプロ2018実行委員長) |

6. 応募状況・審査結果

第1回となる今回は44件の応募があり、選考委員会と審査委員会における厳正なる審査の結果、以下の16件を表彰することが決定しました。

最も優れた表彰候補4件が、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、環境大臣賞に、また、大臣賞に次いで優れた表彰候補5件がエコプロアワード優秀賞に、さらに、審査委員会が推薦する7件が奨励賞に決定しました。

財務大臣賞 該当なし

農林水産大臣賞

- 岩手県久慈市における未利用資源を活用した熱供給サービス
久慈バイオマスエネルギー株式会社

経済産業大臣賞

- 乾式オフィス製紙機 PaperLab A-8000
セイコーエプソン株式会社・エプソン販売株式会社

国土交通大臣賞

- 大和ハウス佐賀支店ビル
大和ハウス工業株式会社

環境大臣賞

- FILSTAR(elementless filter)
株式会社 industria

優秀賞 エコプロ2018実行委員長賞

- 三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」FZシリーズ
三菱電機株式会社 静岡製作所

優秀賞 エコプロ2018実行委員長賞

- ブルタバパック
株式会社福市(LOVE&SENCE)

優秀賞 審査委員長賞

- 発芽米 金のいぶき
株式会社 ファンケル

優秀賞 主催者賞

- 印刷した用紙をリユースできる複合機 Loops LP35/45/50
東芝テック株式会社

優秀賞 地方創生賞

- こども園の給食からうまれた『のとぶり』(能登産野菜とダシ残渣の新たな出会い)
株式会社 ミナトフーズ

奨励賞

- GreenDownProject(グリーンダウンプロジェクト)
一般社団法人GreenDownProject
- さごりんプライウッド
住友林業株式会社
- 科学的地域環境人材(SciLets)育成事業
国立大学法人 三重大学
- イオンの持続可能な水産物調達方針およびFish Baton(フィッシュバトン)の取り組み
イオン(株)／イオンリテール(株)／イオントップバリュー(株)
- ミヤンマーにおけるMDGs～SDGsへの取り組み、および殺菌剤入り石けん液(生分解性99%以上)やソフトの提供による衛生改善
東京サラヤ株式会社・サラヤ株式会社
- エシカルなもののづくりと光発電エコ・ドライブによる新感覚ラグジュアリーウォッチ
シチズン時計株式会社
- REDD+を活用したカーボン・オフセットチェア
株式会社イトーキ

農林水産大臣賞

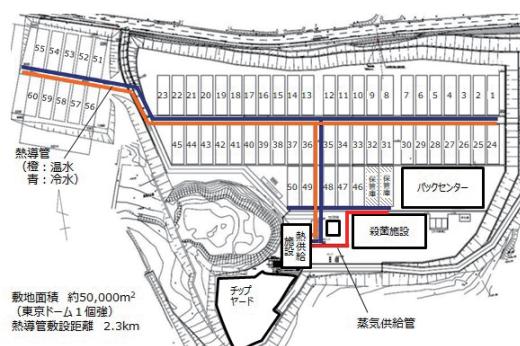
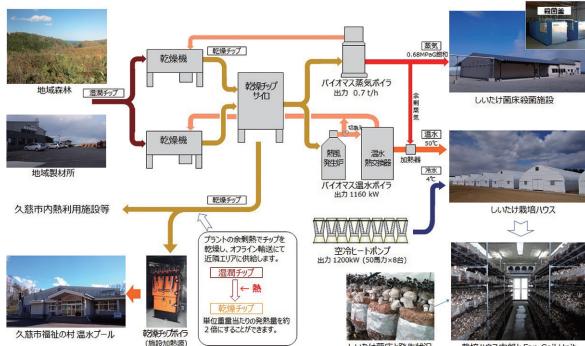
岩手県久慈市における未利用資源を活用した 熱供給サービス

会社名・事業所名 久慈バイオマスエネルギー株式会社



木質資源を原料とした、大規模園芸団地向けの熱供給を行うと共に、近隣地域へのエネルギー供給を行います。

大規模園芸団地内レイアウト
(しいたけハウス No.1~60 : 80坪/棟)



出品者アピール

本取り組みは、岩手県久慈市が2015年に整備した、大規模園芸団地内に入居する農業用ハウス（しいたけ生産）に対して、熱供給を行うと共に、久慈市内の公共施設へのオフライン熱輸送を行うものである。

当該地域における特産品である菌床いたけ生産は、これまで重油焚きボイラで製造した蒸気による、菌床の殺菌工程を行っており、また、灯油焚きの温風ヒータを用いて暖房を行っており、環境への

負荷が大きいと共に燃料コストも高いものとなっていた。

そこで本取り組みにおいては、従来の化石資源燃料の替わりに、地域の未利

用木質資源を燃料として用いて環境負荷の低減と、燃料コスト低減を図った。

併せて、バイオマス熱供給プラントで発生する余熱を蓄熱して、それを市内の熱需要施設にオフラインで供給することにより、距離や時間の制約に捉われずに、市内全域へも熱を届けるものである。

評価

当該熱供給システムはバイオマスボイラーの排熱を蓄熱し、市内全域に配給できることが特長のひとつである。

バイオマスとしての活用は難しいとされてきた地域の未利用材である「バーク」を燃焼させる取り組みは、原料の安定確保、安価な調達コストの実現という点で評価した。

そして未利用であった木質バイオマスエネルギーを地元産業（農業）に利用する地域経済循環モデルとして成功している事業である。

地域のバイオマス発電・熱利用が、復興地域における地元産業の運営と環境及び経済に関わる両コストの削減に寄与し、その結果、地元の生産事業にゆとりと発展をもたらす可能性がある。他地域への水平展開という点において、今後の普及拡大に期待したい。

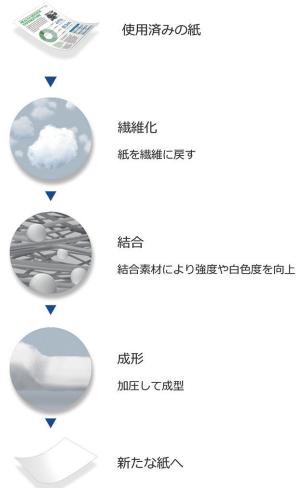
経済産業大臣賞

名称 乾式オフィス製紙機 PaperLab A-8000

会社名・事業所名 セイコーエプソン株式会社・エプソン販売株式会社



使用済みの紙から新たな紙を生み出す
「ドライファイバーテクノロジー」



PaperLabが作り出すのは紙とイノベーション。



(注) エプソンやPaperLabが実現を保証するものではありません

出品者アピール

『紙に新たな価値を与え、
SDGsの達成に貢献』

PaperLab A-8000 は、使用済みのオフィス用紙を原料として、新たな紙をその場で再生産できる乾式オフィス製紙機です。

通常、紙のリサイクルには、大量の水が使われますが、A-8000 は、エプソン独自の技術により、水をほとんど使わずに紙を再生産することを可能にしました。

【主な特長】1) 環境負荷の低減に貢

献: 水の使用量のみならず、建物内で紙のリサイクルが完結するため紙の輸送量の削減が期待できます。2) 情報セキュリティー向上: 機密文書などの紙を繊維状にまで分解し情報を完全に抹消します。3) アップサイクル: 厚紙や色紙など様々な紙を再生し用途に合わせて再利用できます。エプソンは、オフィスでの循環型の印刷環境構築という新たな価値の提供を推進し、より良い社会の実現への貢献を通じて「なくてはならない会社」を目指しています。

評価

日常業務で大量に消費するオフィス用紙をその場で再生できる技術はこれまでになく、優れて革新的であり、紙を再生目的だけでなく、導入した自治体では市民への目に見える環境教育教材、また市の環境政策のシンボルとしても活用され、企業では環境推進を中心とするCSR、CSV、SDGsへの取り組みのシンボルとして企業ブランド価値向上の一助にもなっている。

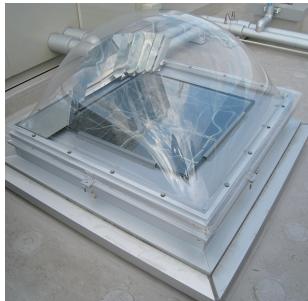
ユーザーに対して、抜本的な紙使用の減量、廃棄紙の発生抑制が分かりやすく、資源循環の意識向上につながっていることを評価した。

紙を使用する現場において、機密情報を完全に抹消した上で紙を再生できるため、用紙のリサイクルという環境面だけでなく、機密保持の観点も同時にクリアしていることも高く評価できる。

国土交通大臣賞

名称 大和ハウス佐賀支店ビル

会社名・事業所名 大和ハウス工業株式会社



出品者 アピール

大和ハウスグループでは、創業 100 周年となる 2055 年を見据えて環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」を策定し、環境負荷ゼロに挑戦しています。長期ビジョンの実現に向け、当社では環境配慮建築「D's SMART シリーズ」を展開しています。

「大和ハウス佐賀支店ビル」は、井水や太陽熱を活用したハイブリッド空調システム、外皮の高断熱化、高効率空調機、全熱交換器、BEMSなどを搭載して大

幅な省エネを目指します。また、太陽光発電システム [83.2 kW] とリチウムイオン蓄電池 [75 kWh] を連携させた電力自立システムを導入し、発電電力の自家消費による環境負荷削減とともに、非常時にも継続的な施設運営を可能にする「電力の自給自足オフィス」の実現を目指し実証実験を開始しました。

当施設で得られた知見をもとに、お客様へ更なる環境配慮型施設の提案・普及を加速させていきます。

評価

住宅・ビルのZEBへの取り組みは推進すべき急務な課題であり、環境負荷を低減する重要な取り組み姿勢と技術開発を評価した。ZEBの導入により一般建築と比較し、2倍以上のエネルギー効率を達成し、太陽光発電、蓄電池を組み合わせた電力自立システムにより、電力会社に依存しない、「電力自給自足オフィス」を実現した。

災害時や停電時でも太陽光発電システムにより自立した運用が可能で、蓄電池容量は事務所をフル稼働させた状態で約3時間使用でき、空調や電気の節電を行うことで長時間の電力供給も可能である。

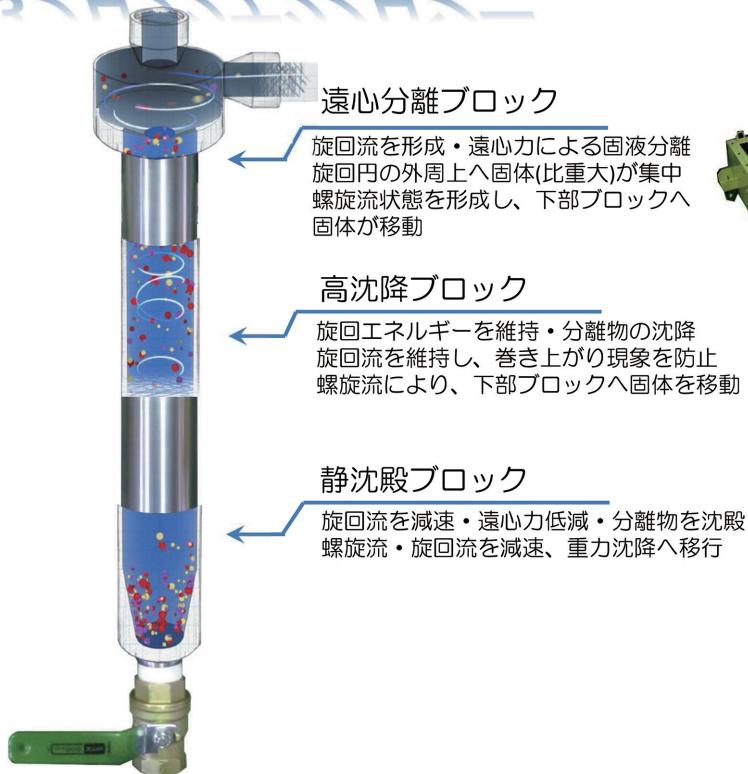
エネルギー効率および再生可能エネルギーに関する国際イニシアティブ「EP100」「RE100」にも加盟しており、省エネ技術導入実例として価値がある。

環境大臣賞

名称 FILSTAR (elementless filter)

会社名・事業所名 株式会社 industria (インダストリア)

FILSTAR 3ブロックテクノロジー



施工事例

出品者
アピール

FILSTARはろ過材を使用
しないフィルターです。

一般的にフィルターと言われるものは、ろ
材を内包し、そのろ材を通過させることで、
ろ過を行います。ろ材は異物を回収します
が、使用後のろ材は膨大な産廃となります。

FILSTARは遠心力を使用した独自の3
ブロックテクノロジーにより効果的に液体中の
異物を回収することを可能としました。この
ためろ材を一切使用しません。つまり産廃
はゼロとなります。

ろ材をなくしたことから、メンテナンスフ
リー・ランニングコストゼロを実現し、省資源、
省エネ製品として経済性と環境性の両立を
可能としました。FILSTARを使った工業
用水(排水)の浄化循環システムにより、水
使用の抑制(貴重な水資源の有効利用)と汚
染排水防止(環境改善)に効果を発揮します。

そしてFILSTARと他の処理技術を組
み合わせて、地下水、雨水の上水化を実
現し、水問題を抱える地域の衛生向上、
水不足解消に貢献できると考えています。

評価

多段階の水処理工程や、貯水槽のような大規
模設備が不要で、産業廃棄物となるフィルター
が不要かつ、他の水処理技術に比べ、初期投資
を劇的に抑え、メンテナンスが容易でランニング
コストを非常に低く抑えることができる。

また化学的処理工程を加えれば、高度な水処
理・水の浄化を行うことも可能であり、工場内の
汚水をフィルターなしで除去する技術は、環境への
配慮とユーザーの手間の削減を同時に実現し
ている点も評価した。

水の循環利用やフィルター不要によるコスト
削減効果が大きく、協力企業との人材交流も素
晴らしく、世界に販売できる優れた製品である。
工場内の水処理ゼロエミッション化に寄与する
地域のものづくり先進企業として、注目度は高い。

優秀賞

エコプロ2018

実行委員長賞

名称 三菱電機ルームエアコン「霧ヶ峰」FZシリーズ

会社名・事業所名 三菱電機株式会社 静岡製作所

出品者アピール ルームエアコンの消費電力の大半(約8割)を占める圧縮機において、低負荷時には「Y結線」、高負荷時には「△(デルタ)結線」を電磁リレーで切り換える「Y-△(ワイデルタ)結線切り換えDCモータ」を世界初で開発することにより、低負荷から高負荷まで広範囲において高効率運転を可能とした。また、住宅の断熱性能(Q値:熱損失係数)を高い精度で学習できるアルゴリズムを開発し、少し未来の温冷感を先読みして快適性を高めつつ、節電することを実現した。さらに、エアコン内部の汚れを抑制するハイブリッドナノコーティングや独自リサイクル技術による自己循環リサイクルプラスチックを使用することで省資源化にも貢献している。



評価

低負荷時の高効率化と高負荷時のハイパワーの両立、住宅性能を学習する新技術で温冷感を先読みし、冷やし・暖め過ぎを抑制し快適性の向上という課題をクリアし、ルームエアコンとして従来より大幅にエネルギー消費効率が向上した。

長期使用につなげるポイントの分析や、再生樹脂

利用、独自リサイクル技術によるリサイクルプラスチックの使用で賃替対応の際の廃材発生量の削減などライフサイクル全体で配慮されている。

センシング技術とAI等の技術を組み合わせ、我慢しない節電機能を通じグリーンな社会意識の形成に貢献し、使用の長期化に注目している点を評価した。

優秀賞

エコプロ2018

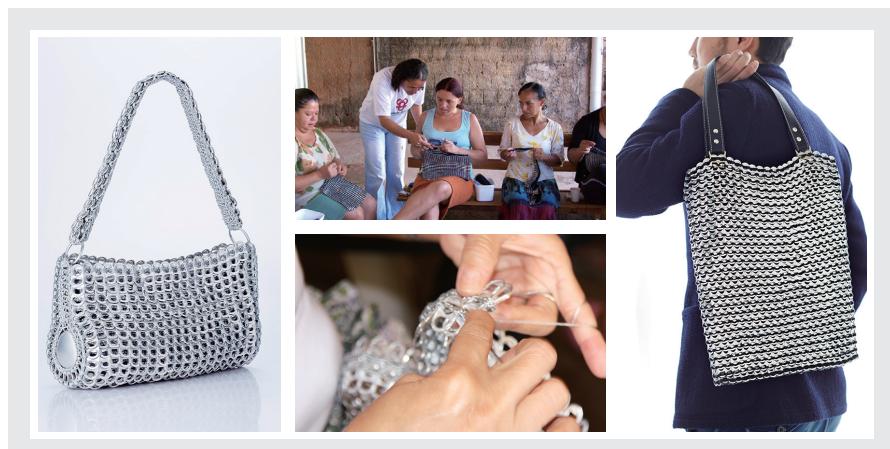
実行委員長賞

名称 プルタブバッグ

会社名・事業所名 株式会社 福市(LOVE&SENCE)

出品者アピール 株式会社福市(LOVE&SENCE)はフェアトレードを通じて「持続可能な社会に向けて行動する人を増やすこと」をミッションに、阪急百貨店うめだ本店に店を構え、全国の商業施設でポップアップショップを展開しています。

このバッグはブラジルの貧困地域の人たちが使用済みのプルタブを入手し、形を選別、洗い、バリをとつてから伝統的な技法で編んでいます。材料調達から仕上げまで地域のグループで製作をするので移動エネルギーも最小限で済みます。リサイクルのプルタブを使用しているとは認識できないくらい完成度が高く、NYのMOMAでも販売されています。アルミのため軽く、長く使ってもほとんど劣化しないのも特長です。



評価

本製品はプルタブを活用しているだけではなく、デザインや機能性を高めている点に価値がある。

フェアトレード、エシカルが体现されている製品として、消費者への啓発インパクトが大きく、デザイン性とストーリー性から、エシカルユーザー以外の心もとらえている製品。

廃材を利用し、手仕事によって製品化しているため、大規模なリサイクルと比較すれば量的な貢献は少ないが、資源を有効に活用し、省エネルギー生産で、作り手の雇用・生活等の経済的にも良好な循環が生じ、環境負荷低減と社会活性化に貢献している点を評価した。

優秀賞

審査委員長賞

名称 発芽米 金のいぶき

会社名・事業所名 株式会社 ファンケル

出品者アピール 白米の場合、豊富な栄養が含まれているにも関わらず、糠や胚芽は捨てられてしまいます。一方で、糠や胚芽を含む玄米は、調理しにくいという課題がありました。そこで、ファンケルは、玄米を研ぎ洗いしながら発芽させ、糠を柔らかくすることによって、炊飯器でも炊ける「発芽米」を開発。中でも、「発芽米 金のいぶき」は、胚芽が一般的な玄米の約3倍大きく、栄養価の高い製品です。「発芽米」の開発により、年間約500トンの糠や胚芽の廃棄削減に成功しました。

また、「発芽米」を生産する過程で出る、選別品（くず米）や糠などを、養鶏場の飼料、キノコの菌床などさまざまな形でリサイクルもしています。



評価

玄米の調理しにくく消化されにくいという課題を、米を研ぎ洗いしながら発芽させ柔らかくすることで、解決、吸収しやすく、かつ炊飯器で炊けるようにした商品。これにより、年間約500トンの糠や胚芽のゴミを減らすことにも成功した事例であり、資源循環・食の観点では他にない取り組みである。

工場で出た、くず米や糠はトリのエサや畑の堆肥に有効活用するなど、不選別品のリサイクルとフードロスを商品化、さらに付加価値をつけて販売、またフードバンクとの連携など、これから日本で取り組んでいく分野に先んじて取り組む姿勢も事業モデルとして素晴らしい評価できる。

優秀賞

主催者賞

名称 印刷した用紙をリユースできる複合機 Loops LP35/45/50

会社名・事業所名 東芝テック株式会社

出品者アピール 当社を含め各メーカーともに、複合機やプリンタなどのオフィス印刷機器の環境対応として消費電力の削減（省エネ）に取り組んでいます。ところが複合機の環境負荷を算出すると、印刷に使用する「紙」の環境負荷が大きいことがわかりました。そこで東芝テックは、紙を繰り返し使用する「紙のリユース」に着目して、印刷した内容を消色できる「消せるトナー」を搭載した複合機 Loops LP35/45/50を開発しました。

Loopsで1枚の紙を5回利用すれば、紙の使用量は5分の1になり、紙の生産時に発生するCO₂や使用される水が削減されます。更に紙の購入・廃棄・保管などの費用の削減も見込まれます。



評価

消せるトナーを活用し、紙を再利用できる仕組みは画期的であり、印刷を消せるプリンター（印刷したものを消すという発想）にオリジナリティもあり、インパクトがある技術である。

紙のリユースを手軽にオフィスで実現するという、優れた着眼に基づいている。用紙の削減は資源、CO₂削減効果が大きく、環境負荷削減効果の見える化で啓発効果やコスト削減効果も期待できる。

消せる紙であってもゴミ箱に捨てるか再利用するかは利用者にかかっているが、今後の普及によりCO₂削減効果が見込める製品であり、新しい文化として定着することを期待したい。

優秀賞

地方創生賞

名称 こども園の給食からうまれた『のとふり』
(能登産野菜とダシ残渣の新たな出会い)

会社名・事業所名 株式会社 ミナトフーズ

**出 品 者
アピール** 『のとふり』は、「能登産野菜(廃棄・規格外)」と「ダシ残渣(昆布・かつお節)」を、乾燥・粉末化しました。ご飯はもちろん、お好み焼きやおひたしにふりかけ、お召し上がり下さい。

「給食現場のもったいない」と「生産農家のもったいない」を融合しました。ダシとして煮出した後の昆布やかつお節の栄養素は、そのものに比べて減少しているものの約60~70%が残留しています。特に、子供たちの成長に必要なカルシウムや鉄分、マグネシウム、亜鉛等が含まれています。こうしたもったいないを掛け合わせることで、給食現場のゴミの減量化や地元野菜の有効活用にも繋がっています。(平成27年度いしかわ産業化資源活用推進ファンド事業支援)



評価

世界農業遺産という日本の風土の根源に関わる事案で、給食で捨てられていた残渣を再利用して給食でつかえる食材を地域でつくり、食を通じて地域がつながり、子供たちの地域や資源に対する意識を高める取り組みを進めている点が素晴らしい。

栄養素の救出利用、食に基づく地元への貢献と情

報発信などはストーリーも明快で、エコプロフェッショナルな地域を挙げてのアクティビティが評価できるポイント。

地域の小規模な取り組みだが、環境負荷削減の観点よりも、地域発の取り組みという点に魅力もあり、他地域への汎用性・教育的効果も期待できる。

奨励賞

名称 Green Down Project(グリーンダウンプロジェクト)

会社名・事業所名 一般社団法人 Green Down Project

**出 品 者
アピール** Green Down Project(グリーンダウンプロジェクト)とは、廃棄物として処理される使用済み羽毛製品を回収、解体、洗浄によって再資源化した羽毛を使用する「羽毛循環サイクル」を進める取組みです。主な特徴として(1)使用済み羽毛資源の再資源化による【環境保全】、(2)羽毛採取におけるライブハンドピッキングの抑制による【動物愛護】、(3)循環の過程における就労支援等を通じた【障がい者への社会参加支援】、(4)羽毛回収が地域活動の支援となる【寄付の仕組みづくり】、(5)企業やNPO等による連携と協働にてプロジェクトを推進する【多様な主体のパートナーシップ】があります。



評価

羽毛の収集には動物虐待要素が含まれる問題からも動物への負荷を減らし、社会における消費行動やサプライチェーンにおける人権や福祉といった視点も含めた包括的な社会システムの変革に対するアプローチである。世界的に需要が高まっているダウンの再利用はこれからますます重要になるとと思われる。

再生ダウンを使いたい事業者に回収協力を義務づけている点や、循環型の仕組み作りから取り組んでいる点、SDGsへの貢献を意識している点も評価できる。

使用済み羽毛回収システムが全国的に広がることで、消費者の認識向上も期待したい。

奨励賞

名称 きこりんプライウッド

会社名・事業所名 住友林業株式会社

出品者アピール

■「きこりんプライウッド」とは?: 森林認証材及び持続生産可能な植林木を50%以上使用したJAS規格適合の商品です。2009年に商品化し普通合板や構造用合板、コンクリート型枠用合板等に広く使われています。高品質と安定供給を住友林業が約束。全国の営業拠点で販売しています。

■「きこりんプライウッド」取扱拡大の意義: 合板の原材料となる東南アジア等の天然木は近年減少傾向にあります。SDGsなど持続可能な開発の機運が高まる中、環境配慮、安定供給の両面から、植林木や認証材への転換が必要になっています。森林認証材や植林木を使用するきこりんプライウッドは現地の産業振興や雇用促進に加え、天然林の負荷低減に寄与します。



評価

気候変動や生物多様性などの観点から、熱帯林保全と回復の重要性が国際的にも注目され、合板は不法伐採や熱帯林破壊材が使われていることから、認証材の採用は非常に良い取り組みである。

熱帯天然林由来の木材を使用していた商品を、積極的に植林木へ切替えることで、熱帯天然林への負

荷軽減にもつながり、きこりんキャラクターで信頼度を高めるアプローチもユーザー、社会への分かり易いコミュニケーションとして評価できる。

売上げの一部をインドネシアでの植林事業に提供し、地域社会に雇用と木材販売による安定収入をもたらし、社会貢献できていることは評価できる。

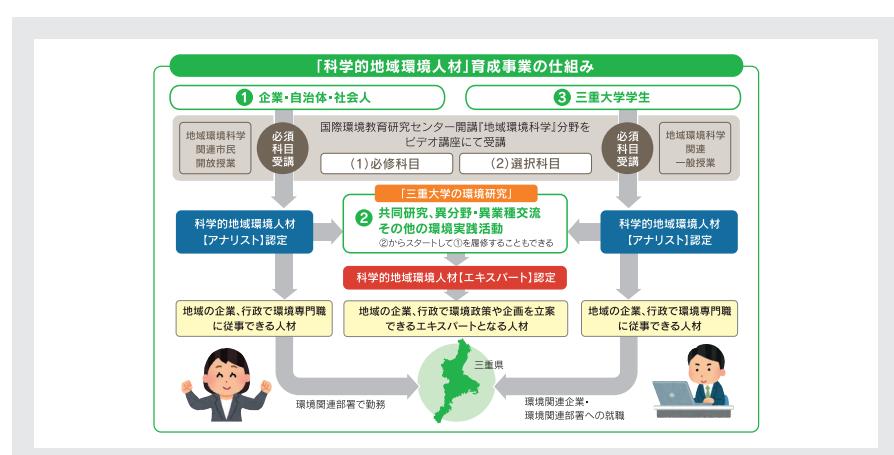
奨励賞

名称 科学的地域環境人材(SciLets)育成事業

会社名・事業所名 国立大学法人 三重大学

出品者アピール

「科学的地域環境人材(サイレツ)」育成事業は、企業・自治体の環境担当者あるいは社会人、そして大学生を対象とした環境人材育成事業です。忙しい社会人の便宜を図るため、講義はインターネットからアクセスできるビデオ講義とし、e-Learningの仕組みにより受講生の理解度を確認し、14科目以上の受講修了者に「科学的地域環境人材【アナリスト】」、また環境共同研究などによる実践教育認定者には「科学的地域環境人材【エキスパート】」の資格・称号を付与します。本プログラムの講義群は、気候変動問題、環境評価法やエネルギー・環境技術、生物多様性、健康リスク、さらには環境経済など環境分野を幅広くとらえているのが大きな特徴です。



評価

e-Learningの仕組みを採用し、「地域環境科学分野」の受講修了者に、「科学的地域環境人材【アナリスト】」の資格・称号を付与している。さらに、高度な人材育成「科学的地域環境人材【エキスパート】」にはOJTの仕組みを利用して行い、「共同研究」や「異分野・異業種交流」のハブ機能を組み込み、環境分野

に関わる総合的な学習機会を提供するツールの開発を高く評価した。

環境負荷の理解から改善技術までの知識を習得することで、長期的な視点で、環境評価から対策技術までの内容を網羅する受講者が、環境負荷低減を目指すことができると考えられ、非常に重要な事業である。

奨励賞

イオンの持続可能な水産物調達方針および Fish Baton(フィッシュバトン)の取り組み

会社名・事業所名 イオン(株)・イオンリテール(株)・イオントップバリュ(株)

出品者アピール

小売の本業である商品の持続可能性に配慮した取り組みを実施している。調達活動では2014年に、「イオン持続可能な水産物調達原則」を公表。

これに基づき2017年に、2020年目標として、「連結対象の総合スーパー、スーパーにおけるMSC・ASCの流通加工認証(CoC)の100%取得」と「主要な全魚種で、持続可能な裏付けのあるプライベートブランド商品の提供」を実施している。販売活動では2015年より、「次世代に豊かな食文化をつなげていきたい」との想いでMSC・ASC認証品を集めた常設コーナーとして、「Fish Baton(フィッシュバトン)」を展開。お客様が、手軽に持続可能な水産物のお買い物ができるような売り場づくりを実施している。



評価

水産品のインパクトはSDGsの中で日本としては重要で、以前から水産物に関する認証製品の取り扱いなど積極的に進められているが、消費者に分かり易く伝えるための工夫と努力を続けているところが非常に評価できる。

水産物を多用する和食を世界に伝えようとする日本食であれば、その保護を国際規格においても示す必要があ

り、このような取り組みは大変重要であり、MSCに加え、ASCをリードすることは高く評価したい。

また、Fish Baton(フィッシュバトン)というキャッチフレーズのMSC・ASC認証品を集めた常設コーナー導入は、水産資源の管理意識を伝える良いアイデアであると感じた。

奨励賞

ミャンマーにおけるMDGs～SDGsへの取り組み、および殺菌剤入り石けん液(生分解性99%以上)やソフトの提供による衛生改善

会社名・事業所名 東京サラヤ株式会社・サラヤ株式会社

出品者アピール

2017年3月、ヤンゴン日本会の方に「ヤンゴンのドリームトレインという養育施設で子供たちが感染症で悩んでいるので、見に行ってほしい」と言われ、同施設を訪問しました。

手洗い場は水が出るだけであったため、手を洗うと同時に殺菌と消毒ができる薬用石けん液「シャボネット」と容器を設置しました。1年後、現地から「感染症が流行した時も、施設内では感染がなかったことから、手洗いによる感染阻止を確認することができた」との報告を受けました。弊社の「シャボネット」の普及が感染症対策に有効と判断し、現地での販促活動に繋げております。取り組みの結果、感染症で苦しんでいた子供たちの笑顔が見られることは何よりです。



評価

ミャンマーの人々の公衆衛生を改善する目的を以て自社製品開発もそれに合わせて行い、現地の人々に役立とうとする企業の姿勢は素晴らしい。

現地に適した製品の開発・提供をすることで、途上国の衛生改善に貢献しながら環境負荷への配慮も行き届いており、持続可能なビジネスとしても成

立している。

技術・材料面での新規性・独創性を超えたところの評価がなされてしかるべき事例と考える。

奨励賞

名称 エシカルなものづくりと光発電エコ・ドライブによる 新感覚ラグジュアリーウオッチ

会社名・事業所名 シチズン時計株式会社

出品者アピール 2016年に日本デビューをした「CITIZEN L」は、アナログ時計としては初めて、製品成分表の公開、DRCコンフリクトフリーを宣言、CO₂排出量を公開するなど、素材調達、生産過程において人や社会、環境や地球に配慮したエシカルなものづくりを実現したウォッチブランドです。全モデルに光発電エコ・ドライブを搭載し、ブランドコンセプトは"Beauty is Beauty"「美しいものは美しいマインドから生まれる、内側の美が外側を輝かせる」内側の美とは「使用成分と含有量の公開」、「DRCコンフリクトフリー宣言」、「CO₂排出量の公開」、「ずっと使い続けられる時計パッケージ」、「取扱説明書スリム化」の5つの約束からなります。



評価

SDGsとエシカルは表裏一体の関係と考えられ、また一般的な消費者ができるエコと魅力あるデザインの製品の選択を同時にできる提案を評価する。

CFPの取得など精密機械としては画期的な取り組みも評価できる。

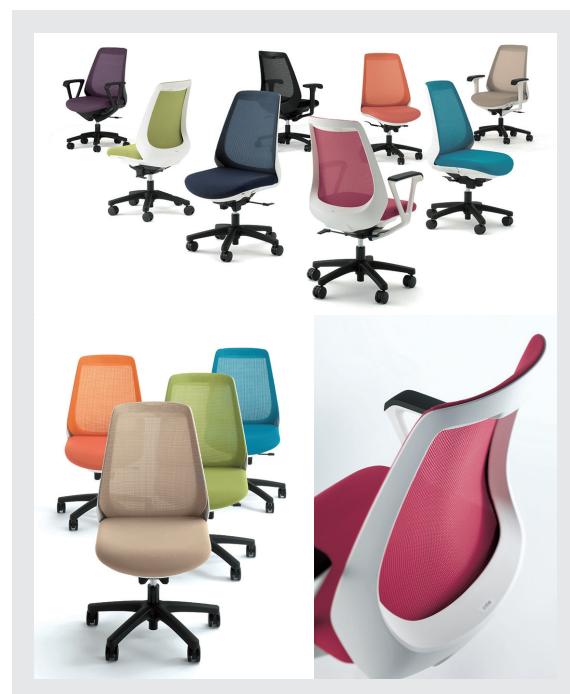
奨励賞

名称 REDD+を活用したカーボン・オフセットチェア

会社名・事業所名 株式会社 イトーキ

出品者アピール nonaチェアはほとんど全てのパーツが国内で製造され、また再利用素材を活用するなど環境に配慮された製品です。2017年よりこのnonaチェアを対象にカーボン・オフセット・プロジェクトを開始。nonaチェアの原材料調達から廃棄・リサイクルまでに排出される温室効果ガスを、REDD+で創出された排出権で100%カーボン・オフセットしています。

このREDD+はインドネシアの泥炭湿地の保全や修復活動、周辺地域のコミュニティ形成の支援を行い、SDGsの17目標に包括的に働きかけています。販売台数に応じてカーボン・オフセットが実施されるため、nonaチェアを購入いただくことで、SDGsに間接的に貢献できます。



評価

通常のオフィス製品を工夫してカーボン・オフセットを付した製品に仕立てる取り組みを評価できる。

その取り組みをインドネシアの泥炭地保全に結びつけるという、より具体的なSDGsにつながるようしている事が、この取り組みの環境的価値を多くの人にわかりやすいものとしている。

普及品にカーボン・オフセットを適用しつつ、価格転嫁せず、企業責任として原価参入している点も評価できる。



EcoPro Awards

エコプロアワードに関するお問い合わせは

エコプロアワード運営事務局 一般社団法人 産業環境管理協会 地域・産業支援センター内

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町2-2-1（三井住友銀行神田駅前ビル7F）Tel : 03-5209-7825 Fax : 03-5209-7716 Email : eco-pro@jema.or.jp